

学校関係者評価委員	学校評議員・PTA
-----------	-----------

1 本年度の学校経営方針・重点事項など

1	学校経営方針	『生徒を真ん中』に生徒・保護者・地域の期待に応え魅力ある選ばれる活力ある学校の創造を目指す」
	(1)	協働体制の確立により、教育活動の改善・充実を図る。
	(2)	地域との連携、協力の体制強化と透明性ある教育課程の実践に努める。
	(3)	普通科単位制の検証を進め多様な進路実現のための特色化を図る。
2	重点推進事項	『つながる・ふみだす・追い求める』音高生の育成」
	(1)	基礎・基本の定着を図るとともに新学習指導要領の掲げる資質・能力を育成する学習指導
	(2)	規範意識を確立し自己肯定感と自己指導能力の向上を図る生徒指導
	(3)	基本的な生活習慣を確立する健康・安全指導
	(4)	より高い目標に挑戦しようとするチャレンジ精神の涵養と実現を支援する進路指導

2 自己評価結果 A(4.0～3.5)：十分 B(3.5～2.4)：概ね十分 C(2.4～1.5)：やや不十分 D(1.4～1.0)：不十分

領域	評価項目	評 価 の 観 点	自 己 評 価 ・ 改 善 の 方 策			評価委員 評価	
			達成 状況	取組の 適切さ	改善の方策	達成 状況	取組の 適切さ
経営・管理	運営組織	1 校務分掌組織は有効適切か	2.9	B	・教員減に対し、分掌の再編などを通じて、更に業務の効率化を図る。 ・複数体制で業務を行うことでOJTを機能させ、教職員の資質・能力の向上を図る。 ・定期的な研修の実施などにより職員の服務規律の徹底を図る。 ・管理職だよりの発行やHPの定期更新等により、外部への情報提供を積極的に行う。 ・懇談機会の設定や行事への参加に積極的に努め、家庭、地域との連携を深める。 ・地域のニーズや生徒の進路動向に対応するとともに新学習指導要領を見据え、間口減にも対応した教育課程の検討を行う。	3.5	A
		2 分掌組織機能の適切さ	3.1	B			
		3 所属分掌の前評価にもとづいた実践	3.1	B			
		4 校務の情報化の進展	2.6	B			
		5 職員会議の円滑かつ有効実施	2.6	B			
	教 職 員	6 職場環境の望ましい人間関係	2.5	B			
		7 OJT(On-the-Job Training)の機能	2.5	B			
		連 携	8 保護者への情報提供	2.7			
	9 保護者の理解・協力		2.7	B			
	10 地域関係機関との連携		2.7	B			
	11 教職員の電話応対、接遇マナー		3.3	B			
	施設設備	12 施設設備の維持管理や補充・補修	3.1	B			
		13 責任保守点検、施錠、整理整頓	3.2	B			
		14 防犯対策の整備、周知	2.8	B			
	教育課程	15 編成方針・手順に対する共通理解	2.5	B			
		16 生徒、保護者、地域のニーズへの配慮	2.5	B			
(学校関係者) 評価委員の意見		・日常生活指導の中で、生徒同士が尊重しあえる学校づくりが必要ではないか。 ・地域との連携がより積極的に行えるような柔軟な授業・評価の在り方を検討し、学校の魅力化を更にすすめて欲しい。 ・バスの増便など生徒達が通いやすい環境づくりを働きかけるべき。					
学習指導	年間指導計画	17 指導計画の具体化	3.0	B	・授業改善による「わかる授業づくり」と教科・学年による課題学習の計画化、家庭学習推進活動を実施し、生徒が主体的に学ぶ環境づくりを行う。 ・シラバスを改善し、評価基準を明確にしたうえで計画的継続的な指導を行う。 ・授業公開を積極的に行い「開かれた学校づくり」に努める。	3.6	A
	教材	18 教材の精選	3.0	B			
	教科指導	19 生徒の実態に即した指導	3.0	B			
		20 十分な準備にもとづいた授業	2.9	B			
	評価	21 評価の観点や方法、基準明示、資料整備	3.0	B			
	確かな学力	22 個に応じた学習指導	3.0	B			
		23 生徒主体のわかる授業の取組	3.0	B			
		24 言語活動を意識した授業展開	2.9	B			
	学習習慣	25 基礎基本の徹底と学力の定着	2.7	B			
		26 授業規律の確立	2.8	B			
		27 家庭学習の推進	2.4	B			
		28 授業規律に係る指導	2.9	B			
評価委員の意見		・間口減により学校の体制が大きく変わらないかどうか心配である。 ・単位制の長所が伝わりにくいのではないかな。具体的な成果や説明が求められる。					

生徒指導	指導体制	29 問題行動の予防・発見・対応・再発防止計画的実行	2.9	B	- 小さなトラブルを見逃さないように情報の共有化を図り、組織的に対応する。 - 指導のガイドラインを明確に示し、継続的な指導を行う。 - 教職員全体での共通理解を図り日常的に協同的な指導体制による取り組みを行う。 - 定期的なアンケート・面談の実施や子ども理解ツールほっとの活用等を更に充実させ、いじめの未然防止、早期発見、解決に努める。 - より組織的なネットパトロールの実施によりネットトラブルへの注意を強化し、未然防止、早期発見・解決に努める。	3.2	B
		30 共通理解、組織的対応	2.6	B			
		31 HR担任のへ指導負担の偏り	2.4	B			
		32 生徒指導部への指導負担の偏り	2.7	B			
		33 地域の教育機関や関係機関との連携	3.0	B			
	生徒理解	34 諸調査の実施、結果の活用	2.8	B			
		35 必要に応じた組織的な教育相談体制	2.9	B			
	生徒指導	36 服装、身だしなみ、言葉遣い、挨拶指導等の徹底	2.5	B			
		37 問題行動の早期発見・予防指導の実行	2.9	B			
		38 問題行動対応、事後指導	2.7	B			
いじめ防止	39 いじめの早期発見・予防対策	3.1	B				
	40 いじめ関係生徒への対応、事後指導	3.1	B				
評価委員の意見		- 生徒の普段の様子からいきいきと学校生活を送っているように感じる。 - 生徒自身が最低限の社会規範を逸脱しないような校則を定めれば守りやすいのではないかと。					
進路指導	指導体制	41 3カ年を見通した各学年計画の作成	2.9	B	- 次年度以降総合探究の担当委員会を整備し進路のみならず実効性のある取組を行う。 - 業務継続計画を定期的に見直し、災害時の基本的対応を周知徹底する。 - 特別活動を通じて、地域社会に貢献する人材育成に努める。	3.6	A
		42 諸調査結果等、具体的な資料を用いた個に応じた指導	2.9	B			
		43 進路指導についての共通理解と協働体制	2.6	B			
		44 分掌と学年の連携	2.8	B			
	指導の実態	45 生徒の進路意識や目的意識を高める指導	2.8	B			
		46 補習・講習等希望実現への援助活動	2.9	B			
		47 進路希望実現への成果	2.9	B			
評価委員の意見		- 成績上位の生徒達を更に伸ばし、上級学校を目指す生徒を増やして欲しい。 - 生徒のポテンシャルは高いので外部機関との連携を図り、進路指導の充実を更に図って欲しい。					
健康安全指導	健康・美化	48 計画的健康安全指導、健康調査・相談	3.1	B	- 生徒の安全確保を意識した、安全教育を実施し、自己管理能力を育成する。 - 業務継続計画を定期的に見直し、災害時の基本的対応を周知徹底する。 - 生徒一人ひとりの心に寄り添った教育相談を実施し、自殺予防に努める。	3.3	B
		49 生徒の環境美化意識の高揚、清掃活動の指導	2.8	B			
		50 職場環境日常的整備、生徒美化意識向上への率先垂範	3.0	B			
	安全・防災	51 生徒の防火・防災意識指導や訓練	3.2	B			
		52 交通安全意識を高める指導	3.1	B			
		53 防災規定や危機管理マニュアルの周知	2.9	B			
		54 事故発生からの迅速な連絡・報告や事後処理	3.1	B			
		評価委員の意見		事故を未然に防止できるように危機管理能力を更に高めて欲しい。			
特別活動・学級・学年	生徒会	55 積極的な参加と協力による生徒会活動	3.2	B	- 生徒の自主的な活動を補償できるような環境を整備し、生徒が自立した活動を行える雰囲気醸成を図る。 - 町内公共施設の花壇造成等により、地域の一員としての自覚と広い視野を育み、地域社会に貢献する人材育成に努める。	3.6	A
	部活動	56 部活動の充実	2.6	B			
	学校行事	57 地域や学校の特色を活かした学校行事の推進	3.1	B			
		58 創意を生かし、調和に配慮した行事計画	3.0	B			
	学級・学年	59 年間計画にもとづいた適切なLHR活動	3.1	B			
		60 学級経営の協働体制の構築	3.0	B			
		61 学年経営の協働体制の構築	3.0	B			
評価委員の意見		花壇造成や町内イベントへの積極的な参加など地域と連携した活動を継続して欲しい。					